

秋田県・市町村協働政策会議における協議結果のフォローアップについて

令和2年11月9日
企画振興部

令和元年11月21日に開催されたこの会議において市町村から提案のあった事項について、現在、次のような取り組みが進められている。

1 市町村提案事項について

市町村の提案	協議結果等	現在の取組状況（予定）
広域的かつ総合的な水害対策の推進について 最近の度重なる豪雨による大規模水害の頻発を踏まえ、県民の命と財産を守るための効果的な取組として、県管理河川の樋門・水門への常設大型排水ポンプの設置や「田んぼダム」の実施等、秋田県と市町村との協働による広域的かつ総合的な水害対策体制を構築する。	県、市町村、気象台で構成し、県内8地域に設置している県管理河川減災対策協議会の取組内容に、新たに内水対策を追加し、下水道、農林の担当者を加え、内水対策を含めた総合的な水害対策体制を県と市町村の協働で構築する。	【担当：建設部】 ○本年6月に県管理河川減災対策協議会を開催し、協議会アドバイザーとして、新たに下水道マネジメント推進課と田んぼダムの実証実験を行っている仙北地域振興局農林部農村整備課を加えた。 仙北以外の7地域振興局については、今年度中に農林部農村整備課を協議会アドバイザーに加え、水害対策体制を構築する予定である。 ○協議会の新たな取組事項として、市町村等の関係機関と内水被害箇所を情報共有し、内水被害の原因と対策の検討に取り組むこととした。 ○今年度は、内水被害箇所の情報共有、内水対策の手法・実現可能性を検討する箇所の抽出に取り組むこととした。 ○また、国、市町村と連携し、新たに流域治水協議会を今年度設置したところであり、流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策を計画的に推進する予定である。